

2012年5月14日号

生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒982-0035 仙台市宮城野区日の出3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.maiwa.coop



白石興産の吉田さん



白石興産

宮城の米粉入り麺

宮城で育ったお米と小麦を原料に使用した「米粉入り麺」です。米粉を50%配合した細めんタイプに仕上げました。米粉ならではのコシとモチモチした食感がクセになります。春夏秋冬愛用いただける自信作です。

『宮城の米粉入り麺』

「大郷の米粉」がうどんになりました。

あいコープ産直米の「大郷の米粉」を50%使用し、米粉の食感と乾麺ならではの喉越しが楽しめる細めの麺に仕上げました。これからの季節は冷やして「つけめん」、野菜たっぷりの「サラダめん」など涼味メニューはいかがでしょう。米粉の普及と地元産原料の活用を目的につくった米粉入り麺を是非ご利用ください。



特集 議案書を読む vol.3

あいコープみやぎ基本理念

自然環境保全



● 広げよう！石けんを使う暮らし
石けん利用者を一人に。

食というのは私達にとって、1番『生きる』という営みに直結していますので、生協＝食の安全は組合員にもきちんと伝わっていると思うのですが、石けん活動を行っているところとある矛盾にたどり着くことがあります。「美味しい」「安心」「安全」の裏側、つまり見えないところで何が起きているのかを知ろうとしない人が意外と多いということ。

食の安全の確保には、水環境保全が不可欠です。そのために私達は30年前から同じ事を組合員に言い続けています。それは「被害者にも加害者にもならない暮らし」の提案なのですが、使いにくいなどの理由からなかなか石けんに移行できない組合員が多いのは残念です。今年度は3年ビジョンに向けた大事なスタートの年です。3年後に、組合員の石けん利用人数が一人に達成できるよう、生産者、組合員に石けんを使ってもらえるような活動を積極的に行っていきます。

理事 高崎かおり



● 原発なんかなくても
私たちは暮らしていける！

国内の原発がすべて停止するなか、原発再稼働を求める動きが強まっていますが、それを許さないためにも、あいコープは脱原発の活動を今年度も続けていきます。

原発のない社会の実現のために、あいコープは何ができるのか。まずは、いろいろなところで、原発の危険性、不要性についての学習会を開きます。今年度は、未来を担う子どもたちも一緒に脱原発の事を考える機会を作っていきます。また、今脱原発の活動をする市民の輪が広がってきています。そのような人達とのネットワークも大事にしていきます。

そして、今年度は「原発なんかなくても私達は暮らしていける」社会を実現するために、自然エネルギーや省エネルギーでの暮らしを勉強していきます。生産者のハウスに自然エネルギーの施設を設置する準備もすすめていきます。

そう、今はもう「原発なんかなくても私達は暮らしていける」社会になっているのです。この事実を一緒に積み上げていきましょう。

理事 斎藤郁子

あいコープカレンダー

5月2日現在

6/14 (木) Gメール野菜BOXを使った料理教室(登録者のみ)
場所: 青年文化センター 4F キングルーム
時間: 10:00~12:00

6/21 (木) 総代会

場所: エル・パーク仙台 ゴザラホール
時間: 9:45~

6/29 (金) シヤボン玉フォーラム in 東京 報告会
場所: エル・パーク仙台 大研修室 (4F 28F)
時間: 10:00~12:00

議案書説明会日程と会場

議案書説明会は、総代ではない組合員の当日参加が必須。ただし、託児はできません。交通費の支給もありません。

5/28(月)	シルバーセンター(青葉区)
5/29(火)	桂市民センター(泉区)
5/29(火)	本草園会館(石巻市)
5/30(水)	柳生市民センター(太白区)
5/31(木)	岩沼中央公民館(岩沼市)
6/ 1(金)	幸町市民センター(宮城野区)
6/ 1(金)	桂市民センター(泉区)
6/ 4(月)	あいコープみやぎ日の出町センター
6/ 6(水)	水の森市民センター(青葉区)
6/ 7(木)	塩釜ガスサロン(塩釜市)

時間はいずれも 10:00~12:00 です。

組合員活動、はじまりました。—専門委員会編—
～石けん環境委員会～

今年の年間テーマは

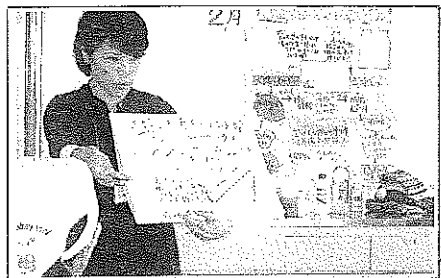
「石けんの知識を組合員に深掘りしていきます！」

今年は新しい委員が10名増えて、総勢23名のスタートになりました。

今年も通常の活動(行政訪問・シャボン玉フォーラム参加リサイクル展・エフエスタ・Wa!わかめ祭り)に力を入れると共に、外への活動では、小学校の社会学習や大学のサークルでの講師、仙台市企画の3R講師などで石けんをアピールしていきます。

組合員に力を入れていきたいことは、組合員とおしも含め生産者の皆さんに石けんを広げる事と、布おむつ布ナプキンの普及活動です。「被害者にも加害者にもならない暮らし」を組合員にしっかり落とし込んでいきたいと思ひます。組合員の皆さんは、積極的に企画に参加してください!

石けん環境委員会担当理事 高崎かおり



石けん環境委員会



エフエスタ

～子ども達の未来のために～ —専門委員会編—
～脱原発をすすめる委員会～

今年度はより多くの組合員と一緒に

脱原発の活動を進めていけるように。



4月14日「第4の革命」の上映会

5月15日 植田たかし氏講演会と、2012年度は大きな企画2つから委員会活動ははじまりました。今年度は、より多くの組合員の皆さんと一緒に脱原発の活動を進めていけるように、地区委員会と連携して学習会や「ふんふんカフェ」を開催していく予定です。

また、子どもたちと一緒に脱原発を考えていきたいと秋には親子デモを企画中です。

脱原発への熱い思いを持った委員が集まりました。この思いを組合員みんなと共有していけるように活動していきます。

子ども達の未来のために脱原発を進める委員会担当理事 斎藤郁子



「海と共に生きる」唐桑わかめ 供給開始です!!
(宮城県漁業協同組合唐桑支庁) <6月1回まんま通信>

海のあいづらんど 開発商品「唐桑わかめ」の産地訪問に 理事、職員数名で伺いました。

2011年3月11日、東日本大震災による大津波が、気仙沼市唐桑町にも襲いました。鳴り響く大津波警報の中、沖合へ避難する漁船、高台を目差し、死で避難をする住民の皆さん。入り江を残さず飲み込み、住居・漁船・漁港施設を奪っていきました。わかめ部会長 小浜さんも、自分の持ち船で沖合へ避難。町が津波でのみこまれるのを海上から助けたりにました。後に残ったのは、カレキの山... ただ茫然と立ちつくすしかなかったそうです。

しかし奇跡がおこります。湾内のカレキを撤去していき漁師さんか、胞子の入ったメガブを海底から発見!それを地ダネにして、養殖再開にこぎ着け、今春の水揚げとなりました。

朝4時半、沖合のイカダに向けて出港。石浜漁港は、震災後1m位地盤沈下したため、かさ上げして湾内の仮設の作業舟に水揚げします。約80℃に熱した海水で茹でた後、冷たい海水で洗います。(この出来たてのわかめをごちそうになりました。その美味しかったこと!)その後、町内にあるわかめを塩蔵する施設に運び、丁寧に加工をして製品にします。週一回 独自で検査機関に放射能測定を出して不検出を確認しています。

「石浜漁港の唐桑わかめは、黒潮と親潮がぶつかり合う外洋で育ったため、肉厚で弾力がある風味豊かで美味しいわかめだよ」と小浜さん。(右写真)是非、これから組合員交流を進め、海のあいづらんど 唐桑わかめを応援しましょう。理事 志野まつ



「えんのう」 始まりました!!

(播磨)



農業実践講座「えんのう」が、今年七郷みづば会の皆さんを講師にお願ひして、新規受講生9名とともに始まりました。あいこふでの開講式の後、早速七郷の火田に移動してじゃがいもの植え付けが最初の講習でした。

七郷みづば会の菊地さんにお借りしたおよそ10aの火田は、津波の被害に遭って防風林もなくなった所です。トラクターで耕すとカチカチと音がしてかわらのかけらやトタンのくず、小さなガシカ、まだまだ出てきます。そこに、土壌肥をたっぷり入れて火田にしていきます。

今年の「えんのう」は、七郷みづば会の皆さんの技術と知識を教わりながら近郊生産者の「えんのう」にも取り組んでいく計画です。

えんのうスタッフ 小野奈美子